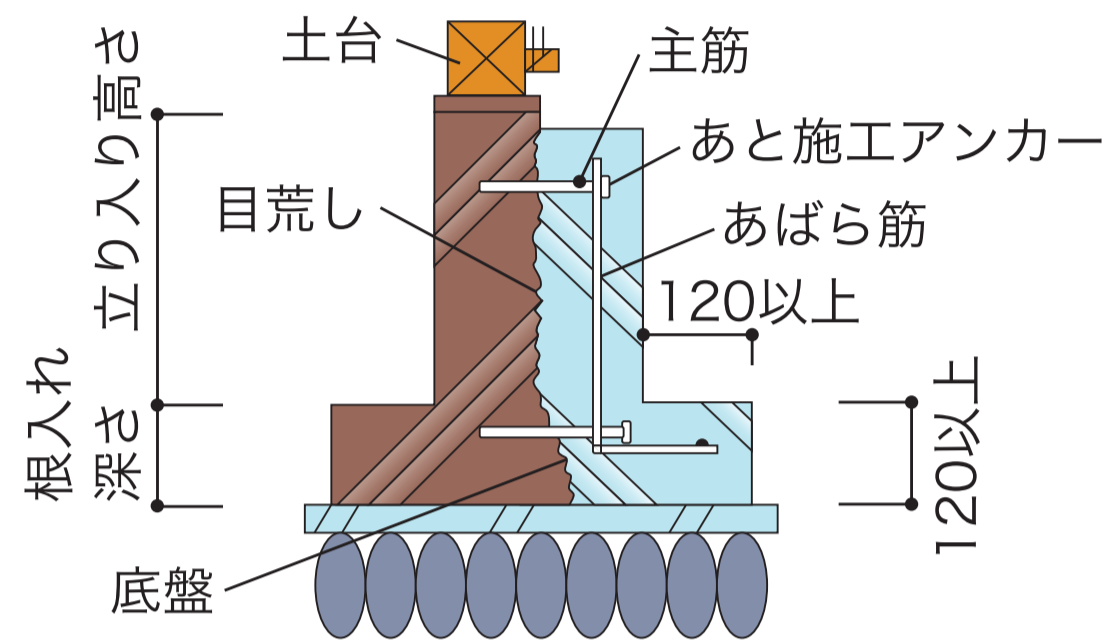


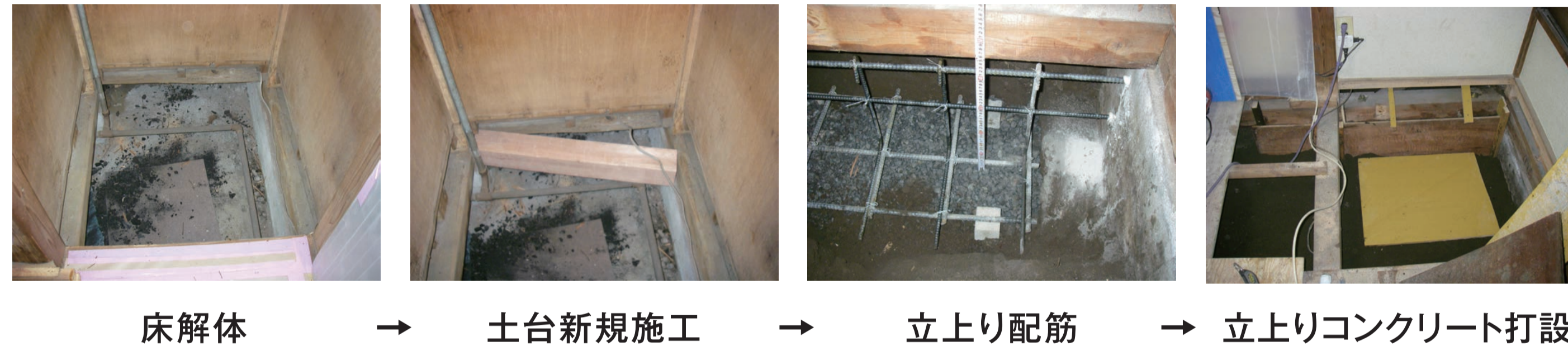


耐震改修工事(木造)

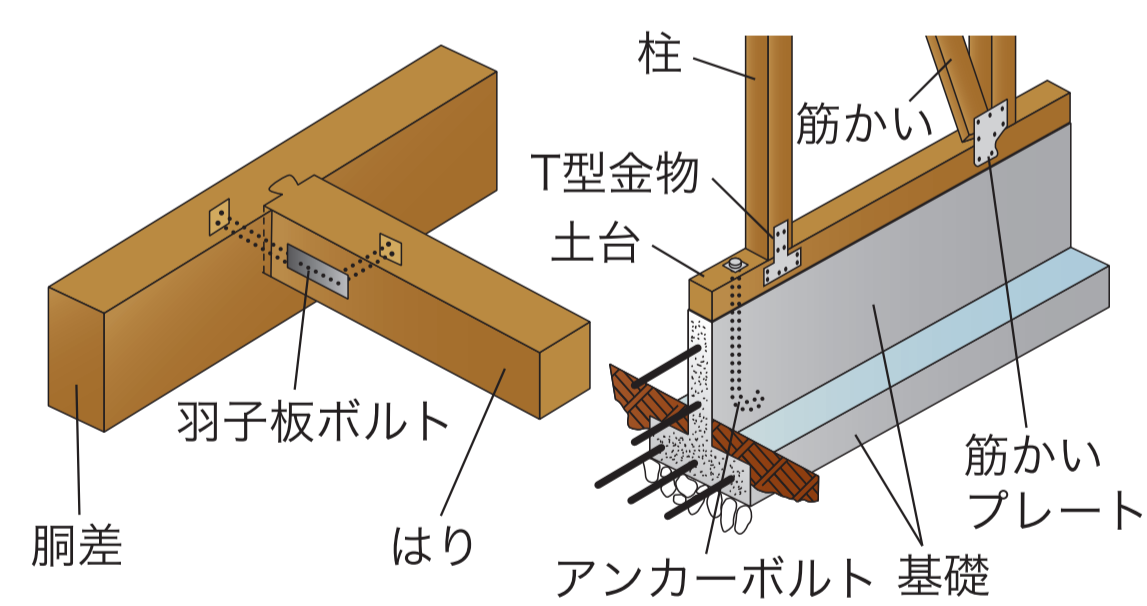
基礎の補強



- 玉石に束立てしただけの柱は、鉄筋コンクリート造の布基礎とし、アンカーボルトで土台と一体にしましょう。
- 基礎の底盤の幅が不足していたり、基礎に鉄筋が入っていない場合には、基礎を増し打ちするなどして、既存のコンクリート造布基礎を補強しましょう。



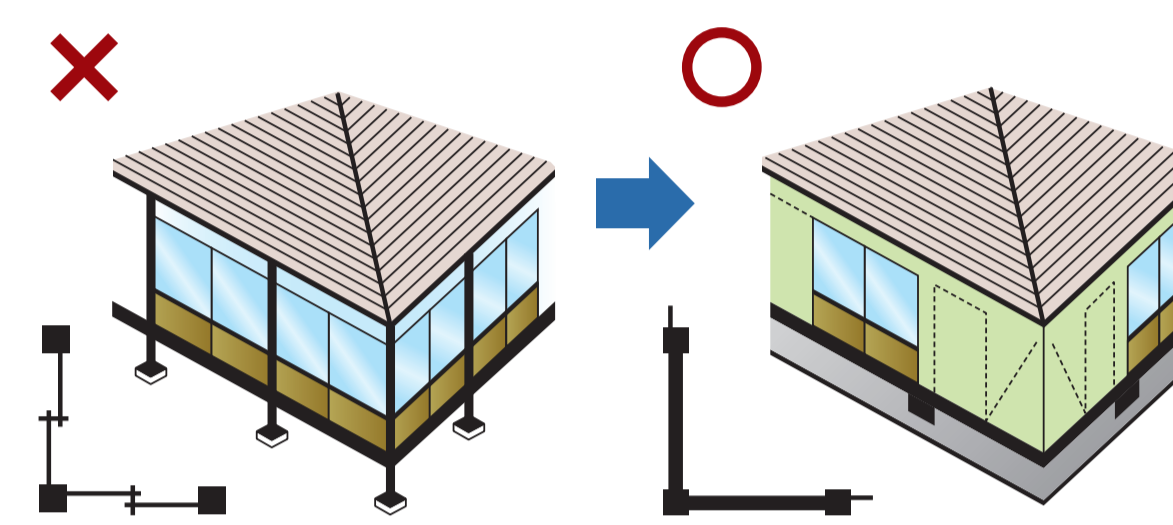
はり・土台・柱・筋かいなど接合部の補強



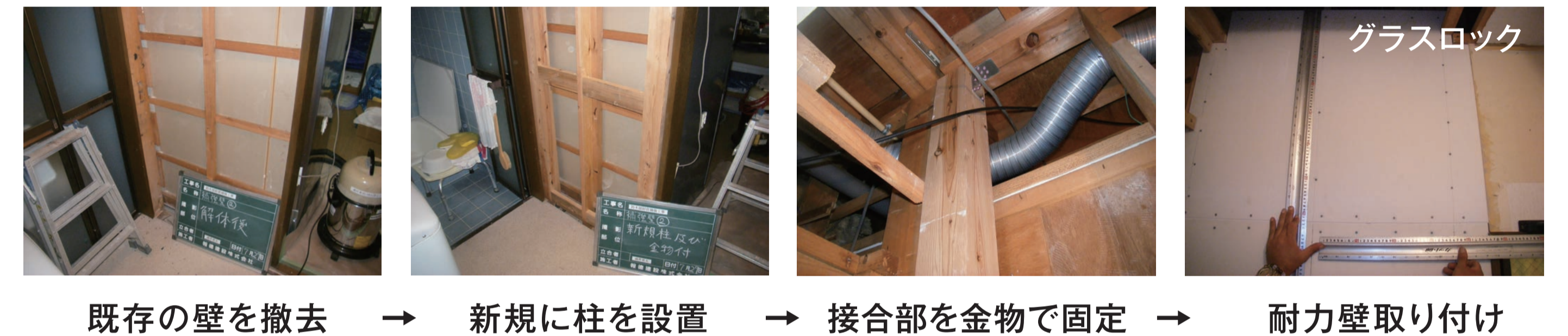
- 土台・柱・筋かい・はりなどの接合部は、専用の金物等を使って、それぞれの部材が一体となるよう緊結しましょう。
- ・柱と土台 → アンカーボルト、ホールダウン金物
- ・柱とはり → 羽子板ボルトによる引き止め
- ・柱とはりと筋かい、柱と土台と筋かい → 筋かいプレート、ひら金物とT型もしくはV型金物



筋かいを入れる、構造用合板を張る等により、強い壁(耐力壁)を増やす

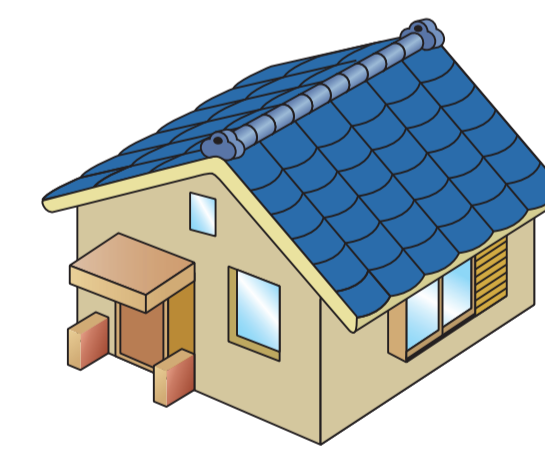


- 柱、はりだけでは地震の力に抵抗できません。開口部(ガラス戸)を減らし、筋かいや構造用合板で補強された壁を増やしましょう。
- 壁を鈎合いよく増やすことにより、より大きな地震の力に耐えられます。
- 隅部を壁にすると一層効果的です。

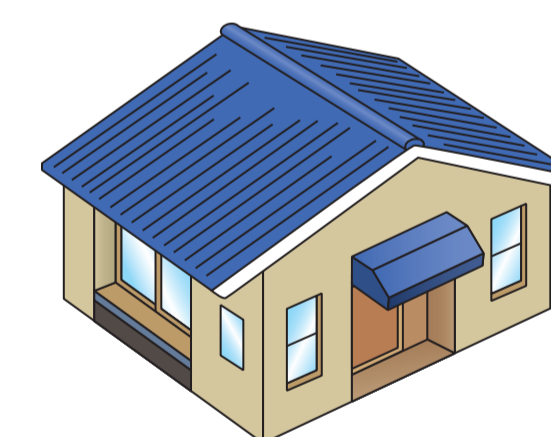


屋根の軽量化

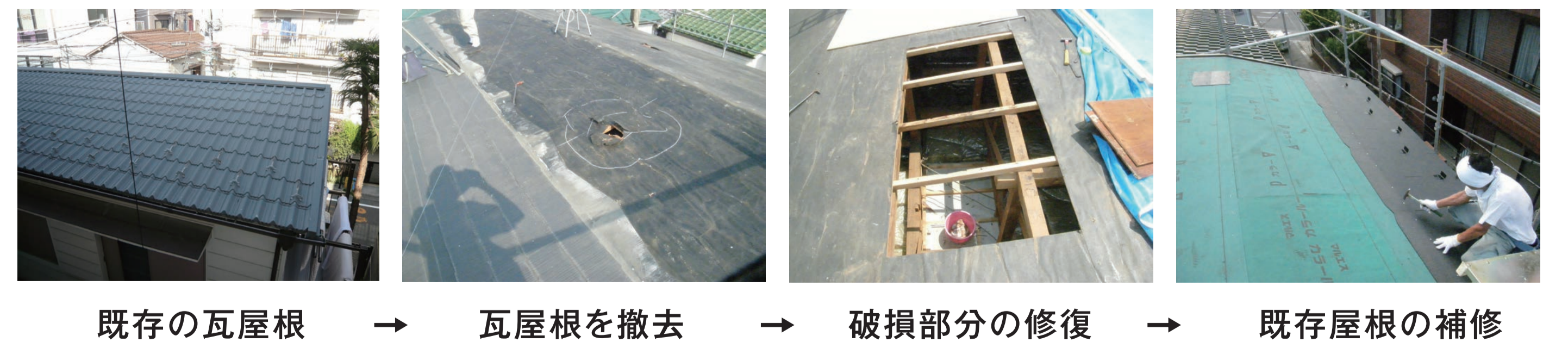
× 重い瓦



○ 軽いスレート



- 屋根を軽くすることによって、建物に作用する地震の力が減るため、大地震時に壊れにくくなります。



写真提供:(財)東京都防災・建築まちづくりセンター